

編集方針

カシオでは、自社と社会の持続的発展に向けた価値創造として、カシオの中長期戦略およびサステナビリティの取り組みを報告するとともに、今後の取り組みのレベルアップに向けてステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図ることを目的に、統合報告書を作成しています。編集においては、IFRS財団の「統合思考原則」や「統合報告フレームワーク」、経済産業省「価値協創ガイダンス」などを参照しながら、カシオが中長期に目指す姿とその実現に向けた道筋をわかりやすく伝えることを意識して制作しています。

開示体系

● 統合報告書

社会とともに持続的に成長するカシオの価値創造をお伝えする報告書として2019年より発行しています。

● サステナビリティ Web サイト

カシオのサステナビリティの取り組みを網羅的に報告し、検索性に優れたWebサイトを目指し情報開示しています。

 <https://www.casio.co.jp/csr/>

● サステナビリティレポート2024 (2024年12月発行予定)

「サステナビリティ Web サイト」の情報をダウンロードできるPDFファイルを用意しています。

すべての情報の一括印刷や、必要な部分のみの分割印刷が可能です。

制作体制

コーポレートコミュニケーション本部長である榎尾隆司を編集責任者とし、経営企画部、IR室およびサステナビリティ推進室を事務局とした編集体制にて作成しました。制作事務局を中心に、各部署・責任者へのヒアリングと連携を行いながら企画構成などの議論・設計を行いました。

新たな経営体制2年目となる2024年6月、当社はパーパスを策定しました。

今後はこのパーパスをもとに、全従業員が一丸となって「創造 貢献」の次なる進化へと挑み、中長期的な価値創出を目指します。

カシオの未来への道筋に込めた想いを社内外に発信し、対外的にはもちろんのこと、従業員への理解促進、定着にもつなげていきます。統合報告書の継続的な進化を通じ、ステークホルダーとの対話の一助となることを目指していきます。



専務執行役員
コーポレート
コミュニケーション本部長
榎尾 隆司

見直しに関する注意事項

本統合報告書の業績予想に関する記述および客観的事実以外の記述に関しては、当社が本統合報告書発行時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどにかかわるさまざまな要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があることをご承知おきください。

目次

編集方針	01
目次	02

Introduction

パーパス&バリューズ	03
CEOメッセージ	05
CASIOの事業概要	11
価値創造の歩み	13
CASIOの価値創造モデル	15
財務・非財務ハイライト	17

CASIOの価値創造

CASIOの価値創造	19
CASIOの理念体系	20
サステナビリティ経営	21
マテリアリティの目標・KPI一覧	23
「2030年に向けた基本方針」と「3ヶ年中期経営計画」	27
CFOメッセージ	29

事業を通じた価値創造

時計事業	33
EdTech(教育)事業	35
サウンド(楽器)事業	37

「経営資本」の増強

従業員との信頼・共感関係づくり	39
技術・ノウハウの「深化と革新」	41
レジリエントなグローバルサプライチェーンの構築	43

「経営基盤」の強化

取締役会議長メッセージ	45
役員一覧	47
コーポレート・ガバナンスの強化	51
DXの推進と情報セキュリティの強化	59
環境経営の強化	61
人権の尊重	65
社外取締役メッセージ	67

Data Section

11年間の財務サマリー	71
連結貸借対照表	73
連結損益計算書	75
連結包括利益計算書	76
連結株主資本等変動計算書	77
連結キャッシュ・フロー計算書	78
会社情報	79
株式情報	80